

細菌性髄膜炎

現在発症は年間に約1000人の子どもたち

その内約5%の尊いいのちが奪われ、25%もの子が後遺症と向き合っています

原因となる細菌の60%をしめる“ヒブ(Hib)”30%は肺炎球菌、

これらの細菌はごく日常的に子どもたちのすぐ身近にいます！！

またヒブは敗血症・急性喉頭蓋炎といった感染も引き起こします。

肺炎球菌は青少年や成人にも危険が！！

日本の子どもたちみんながこの恐ろしい感染症の危険にさらされているのです。

ワクチンで予防できる

これらの感染症はワクチンで予防することができます。

世界では当たり前前のワクチン！！

WHO(世界保健機構)が乳幼児への定期接種を推奨し、

多くの先進国で定期接種化され子どもたちを感染から守っています。

世界から遅れること約10年以上たち

ようやく日本でも、ヒブワクチンの接種はスタートしましたが、

任意接種での開始となり、1回7000円前後、計4回の接種が必要なワクチンのため費用は約3万円にも・・・

おなじく2009年秋に承認された小児用肺炎球菌ワクチンも同様に4回接種(基本)が必要その価格は1回10,000円前後になるだろうと推測されています。

子どもたちのいのちや健康はお金に代えられませんが、

若い子育て世代にとってはとても大きな負担に！！

さらに経済的な事情が子どもたちの『いのちの格差』を生みだすことになりかねません。

私たち国民が声をあげて早期定期接種化を求めましょう！！



【細菌性髄膜炎から子どもたちを守る会】

URL <http://zuimakuen.net/>

お問い合わせ info@zuimakuen.net